

国際社会学部

青木 雅浩

Aoki Masahiro

地域社会研究コース／中央アジア（モンゴル）

歴史学（モンゴル近現代史）



近現代のモンゴルと東北アジア・中央ユーラシア

20世紀、ユーラシアに広く住まうモンゴル人は、各々が多様な性質を持つようになっていったなかで、モンゴル人の統一と自立を求めて多様な運動を展開しました。一方、日本、中国（中華民国、中華人民共和国）、ロシア（ロシア帝国、ソ連）などの諸外国は、モンゴル人が住まう東北アジア・中央ユーラシアに進出し、モンゴル人社会と関係を築いていきました。このようなモンゴル人の多様な運動と列強の進出の狭間で、人々の多様な交流と複雑な対立が生まれ、空前の社会的変化が東北アジア・中央ユーラシアに発生しました。民族問題、国際関係、近代化、社会主義と資本主義の展開などの近現代世界の諸問題が、近現代モンゴルの空間に集中しているのです。

研究紹介

現在のモンゴル国の地域のモンゴル人とソ連が、20世紀前半期においてどのような政治的な関係を築いていたかを解明するのが、私の研究テーマです。モンゴル人国家建設を目指すモンゴル人政治家たちと、東アジア政策を前提としてモンゴルに関与を図るソ連の間で展開される権謀術数を読み解き、モンゴルの政治情勢を考察しています。20世紀の民族問題の様相、ロシア国家による周辺地域への関与、東北アジアの国際関係といった今日の世界でも重要な諸問題に対する視点を、モンゴル・ソ連関係史から見出せます。

歴史学には史料が必須です。私が使用する史料は、モンゴル、ロシア、日本の公文書史料です。特に、モンゴルとロシアの公文書史料は、1980年代までの社会主義政権の時代には秘匿されてきたものであり、ソ連圏社会主義諸国の民主化により初めて公開されたものです。その内容は、社会主義時代には機密とされた重要なものばかりです。未知の史料から誰も知らない真実を明らかにする楽しみがあります。



担当授業

- モンゴルの遊牧と前近代史
- 近現代のモンゴル
- 歴史資料体論
- モンゴルとソ連
- 中央ユーラシアの民族問題と近現代モンゴル

関連する分野

- 中央ユーラシア史
- ソ連史
- 東アジア史
- 民族問題研究

出版物

- 『モンゴル近現代史研究』
- 『モンゴル史研究—現状と展望』
モンゴルとソヴィエト、コミンテルン
- 『ソ連と東アジアの国際政治』
一九二〇年代前半の外モンゴルにおけるソ連、コミンテルンの活動指導者たち
- 『アジア人物史10民族解放の夢』
国家建設を巡るモンゴル人の模索

国際社会学部

モンゴル地域研究 ゼミ



カラコルム跡のステップとエルデネ・ゾー
(モンゴル国中西部)

どのようなゼミか

本ゼミは、モンゴル、中央ユーラシア、東北アジアの歴史、政治、社会、文化などを研究したい学生が集まる場です。指導教官の専門領域は20世紀のモンゴルの政治史、モンゴル・ソ連関係史ですが、ゼミ生は、モンゴルの教育・ジェンダー・SDGs問題など、様々なテーマを研究しています。様々な研究テーマを通じて、中央ユーラシアの多元的で複雑な社会の理解に取り組んでいます。



モンゴルをはじめとする中央ユーラシアの遊牧社会は、遊牧文化に根付いた社会を形成し、現在に至っています。この遊牧社会は、私たちが暮らしている定住農耕社会とは、文化、習慣、社会構造などにおいて、全く異なる形をしています。このような社会で発生する

歴史的な事象、現在の諸問題は、一見私たちの社会での出来事と同じように見えても、その本質的な部分では大きく違った性質を持っています。我々の社会とは異なる社会の形を適切に把握し、その理解に基づいて問題を直視する必要があります。

本ゼミでの学びを通じて、私たちが日々暮らす社会とは大きく異なる社会を適切に理解して対応する能力、私たちが生きる世界を多元的に捉える能力、大量の情報から本質を見抜く能力を培います。このような能力は、本学を卒業した学生が、多様な現代社会を生き抜き、世界で活躍する上で必要になるはずで



卒論

- モンゴルの教員待遇改善の方向性
- モンゴルESDプロジェクトにみるモンゴルESDの特徴
- 草葉集『ノロ高地』で描かれるノモンハン事件
- 社会主義時代の男女等政策が今日のモンゴルに及ぼす影響
- 日本・モンゴル経済連携協定(EPA)の締結意義

おススメの本

- 小松久男編『中央ユーラシア史』
- 小松久男、荒川正晴、岡洋樹編『中央ユーラシア史研究入門』
- 吉田順一監修『モンゴル史研究：現状と展望』
- 麻田雅文編『ソ連と東アジアの国際政治1919-1941』

(地域社会研究コース 青木雅浩ゼミ)

本ゼミ最大の特徴は、卒業論文を書くためのノウハウを基礎から丁寧に学ぶことです。毎回の講義は、少人数でのディスカッション形式で行われます。担当の青木先生は、授業ごとに設定されたテーマについて私たちに考え、話し合う機会を多く設けて下さるため、自力で論理的な文章を書く力を養うことができます。ここでは、主に卒業論文を書くために必要な知識について話し合います。例えばどのように問いを設定すればよいのか、問題意識をどのように見つければよいのか、先行研究はどのように発見し、何に気をつけて読めばよいのかなどです。これらは自力で解決するには難しい内容です。しかしこのゼミでは、学生同士で互いに意見を出し合うので、みんなでそれぞれの問題を解決していくことができます。青木先生も親身になって指導して下さるため、イチからしっかりと卒業論文を書けるようになりたい方におすすめのゼミとなっております。